

兵主神社

ひょうずじんじや



アクセスMAP



本殿



鳥居と楼門

兵主神社は、琵琶湖東岸の旧野洲郡に鎮座し、延喜式神名帳においては明神大社に列せられ、古来より信仰されてきた神社である。その起源は中国山東省の八神信仰であり、大陸より製鉄の文化と共に海を渡ってきたと考えられている。境内には県指定文化財の本殿、楼門を始め、神社庭園としては国内でも数少ない名勝指定庭園も有している。御祭神は八千矛神(大國主命)で、兵主の名より武家の

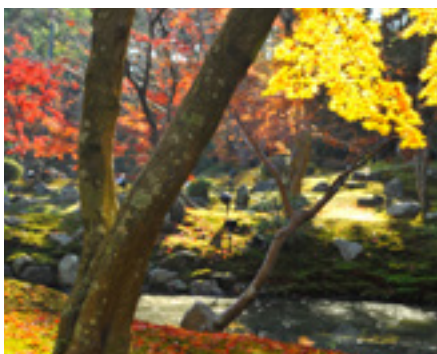
信仰も厚く、重要文化財「白絹包腹巻」を始め武具類を数多く所蔵している。

また、中世には日吉大社と同様に比叡山の信仰圏にあり、法華経を守護する三十番神の二十八に列せられ、日吉大社に類似する当社の末社・例祭の形態や、当社旧蔵の重要文化財「金銅種子華鬘」刺繍三昧耶幡」等の仏具類などからも当時の関係性を伺うことができる。

前述の例祭「兵主祭」は五月五日に斎行され、日吉大社と



同様に七社の大神輿を始め、太鼓・子供神輿、約三五基が氏子区域より当社に集い勇壮な渡御が行われる。



庭園紅葉

《鎮座地》滋賀県野洲市五条五六六
 《御祭神》八千矛神(大國主命)
 《電話》〇七七・五八九・二〇七二